

第 1 編 江田島市の教育行政

1 概要

江田島市教育委員会

〒737-2213

広島県江田島市大柿町大原 5 3 5 番地 2 (大柿公民館 1 階)

T E L . 0823 (40) 3035 代表 (学校教育課総務係)

0823 (40) 3036 (学校教育課指導係) 0823 (40) 3037 (生涯学習課)

F A X . 0823 (57) 2711 (各課共通)

U R L : <http://www.edc.etajima.hiroshima.jp/>

E-mail : gakkou@city.etajima.hiroshima.jp (学校教育課)

gakusyuu@city.etajima.hiroshima.jp (生涯学習課)



大柿公民館

2 教育委員



三島教育委員長



樋上教育委員



柳川教育委員



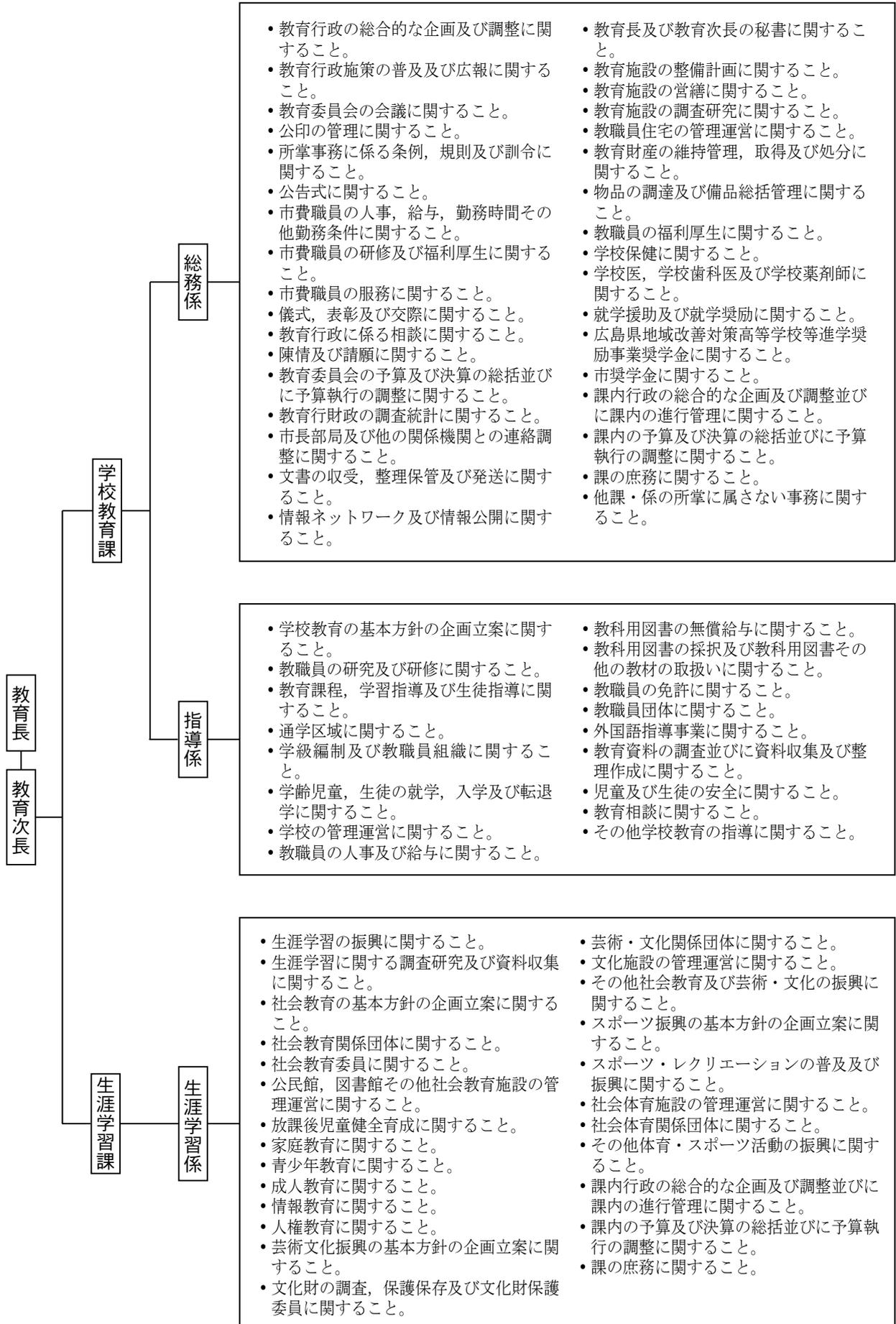
今井教育委員



塚田教育長

役職名	氏名	任期
教育委員長	三島 雅 司	自 平成26年 4月 1日 至 平成30年 3月 31日
教育委員 (委員長職務代理者)	樋上 美由紀	自 平成28年 4月 1日 至 平成32年 3月 31日
教育委員	柳川 政 憲	自 平成25年 4月 1日 至 平成29年 3月 31日
教育委員	今 井 絵里子	自 平成27年 4月 1日 至 平成31年 3月 31日
教育長	塚 田 秀 也	自 平成25年 4月 1日 至 平成29年 3月 31日

3 事務分掌



4 一般会計予算（歳出・目的別）

（単位：千円）

	平成 28 年度		平成 27 年度		前年度比
	予算額	構成比	予算額	構成比	金額
議会費	188,899	1.2%	195,016	1.3%	-6,117
総務費	3,081,370	19.6%	2,496,557	16.7%	584,813
民生費	4,637,814	29.4%	4,205,728	28.1%	432,086
衛生費	909,103	5.8%	935,777	6.3%	-26,674
労働費	32,006	0.2%	39,191	0.3%	-7,185
農林水産業費	671,119	4.3%	643,246	4.3%	27,873
商工費	187,455	1.2%	185,010	1.2%	2,445
土木費	1,288,553	8.2%	1,170,389	7.8%	118,164
消防費	655,637	4.2%	771,623	5.2%	-115,986
教育費	1,150,872	7.3%	1,326,672	8.9%	-175,800
教育総務費	238,964		222,877		16,087
教育委員会費	1,818		2,006		-188
事務局費	121,420		105,297		16,123
教育振興費	115,726		115,574		152
小学校費	111,480		423,411		-311,931
学校管理費	98,094		394,889		-296,795
教育振興費	13,386		28,522		-15,136
学校建設費	0		0		0
中学校費	141,644		87,523		54,121
学校管理費	121,342		75,105		46,237
教育振興費	20,302		12,418		7,884
学校建設費	0		0		0
社会教育費	302,977		259,505		43,472
社会教育総務費	134,113		118,953		15,160
文化振興費	6,908		6,684		224
公民館費	111,514		82,707		28,807
図書館費	29,998		31,949		-1,951
人権教育費	1,730		1,771		-41
文化財保護費	632		593		39
学びの館費	4,047		3,949		98
環境館費	14,035		12,899		1,136
保健体育費	355,807		333,356		22,451
保健体育総務費	11,359		10,331		1,028
社会体育施設管理費	121,629		71,180		50,449
学校給食費	222,819		251,845		-29,026
災害復旧費	31,000	0.2%	16,000	0.1%	15,000
公債費	2,107,106	13.4%	2,191,651	14.6%	-84,545
諸支出金	784,066	5.0%	763,140	5.1%	20,926
予備費	25,000	0.2%	25,000	0.2%	0
合計	15,750,000	100.0%	14,965,000	100.0%	785,000

5 教育行政方針の概要

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となります。

このため、学校教育では、児童生徒の生きる力を育むことを目指し、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努めます。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指します。

学校教育の充実

＜施策の目標(目指す姿)＞

生きる力が生まれ、信頼される学校づくりが進んでいます

1 学校教育の内容(小中学校)

各調査結果を分析し、授業改善等を行うことにより、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準を向上させます。

また、急速に進展するグローバル化や情報化への対応を図ります。

【主な取組】

●授業改善等による学力の定着・向上	学力調査の結果の分析等を通して、授業改善等を行い、学力の定着・向上を図ります。
●発達段階に応じた道徳教育及び人権教育の推進	各教科等での指導や体験活動を充実させるとともに、家庭や地域と連携し、発達段階に応じた道徳教育及び人権教育を推進します。
●集団宿泊活動や自然体験活動等の体験活動の推進	小学校における集団宿泊活動の充実や、「里海」を教育資源とした自然体験活動の充実を図ります。
●自己指導能力を育成する生徒指導の充実	いじめの防止等の取組など、生徒指導体制の確立を図るとともに、児童生徒の問題行動等の未然防止や早期対応に努めます。
●体力づくりの場の充実等による体力・運動能力の向上	体力・運動能力調査の結果分析を活用した授業・スポーツ活動の実施及び部活動の活性化を図ります。
●学校・家庭・地域が一体となった食育の推進	食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけるとともに、家庭や地域と連携した食育の取組を推進します。
●言語活動の充実等によることばの教育の推進	言語活動の充実により、児童生徒の言語に関する能力を向上させ、思考力、判断力、表現力等の育成を図ります。
●発達段階に応じた系統的なキャリア教育の推進	中学校の職場体験学習をはじめ、発達段階に応じたキャリア教育を推進します。
●教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導や必要な支援を行います。
●江田島市内の校種間(小・中・高・特別支援学校)連携の推進	校種間の連携により、教育課題の検討、児童生徒の交流及び教職員研修の充実等を図ります。
●グローバル化・情報化に対応する教育の推進	外国語指導助手の活用等を通じて、小学校の外国語活動及び中学校の英語教育の充実を図ります。また、ICTを活用した授業の充実を図るとともに、情報モラルの育成を図ります。

2 学校と地域・家庭との信頼関係

組織的な学校体制のもとで、教職員を育成するとともに、学校評価の充実等を図ることにより、開かれた学校づくりを進め、学校・家庭・地域の連携により信頼される学校を目指します。

【主な取組】

●教職員の資質・指導力の向上	教職員研修の充実や自主教育研究グループへの支援により、教職員の資質・指導力の向上を図ります。
●開かれた学校づくりの推進	学校評価を充実させ、教育の質の向上を図ります。

3 学校施設の整備

安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した校舎等の耐震化、修繕及び改修を行うとともに、学校統合による遠距離通学の児童生徒を支援します。

また、教育の情報化に対応するため、ICT機器の整備を計画的に行います。

【主な取組】

●学校施設の耐震化及び改修	老朽化した校舎等について耐震診断に基づき、耐震補強及び大規模改修等を計画的に進め、耐震化率100%を目指します。
●学校施設・設備の管理・整備	学校施設・設備を適切に維持管理するとともに、計画的な整備を図ります。
●ICT機器の整備	教育の情報化に対応するため、ICT機器を計画的に整備します。
●遠距離通学への対応	学校統合により遠距離通学となった児童生徒のため通学手段の確保、路線バス定期補助を行います。

生涯学習の充実

＜施策の目標（目指す姿）＞

誰もが生涯を通じて学び、活動し、生きがいを感じ、輝いています

1 生涯学習活動の支援

市民ニーズにあった講座を実施するなど、公民館講座の充実を図ります。

また、内容の検討、積極的な広報等を行い、市美術展など文化芸術に接する機会の充実を図るとともに、児童や青少年の居場所づくり、体験学習などの機会の確保・充実に取り組みます。

更に、人権教育啓発の効果的な事業展開や、図書館利用について、市民の要望や意見等を参考にしながら利便性を高め、利用者の増加に努めます。

【主な取組】

●市民ニーズに応じた公民館学習の支援や交流機会の提供	生きがい、心豊かさ及び健康増進を図るための学習機会を設け、市民ニーズに応じた多様な講座を開催します。
●講演等による人権教育の推進	講演会などを開催し、市民の人権意識の高揚を図ります。
●公立図書館の連携や読書グループの育成などによる図書館サービスの充実	公立図書館などとの連携による図書館機能の充実や、市民読書グループの育成などによる、利用しやすい図書館を目指します。
●文化芸術を鑑賞する機会の確保	創作活動の振興と、優れた作品を鑑賞する場を設け、豊かな感性と確かな教養を培う機会を提供し、文化芸術の向上に寄与します。
●放課後の遊びや生活の場の確保	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対して、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。

2 社会教育施設の整備

生涯学習の活動拠点となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、社会教育施設の再編・整備について検討します。

【主な取組】

●社会教育施設の効率的な管理運営	様々な学習ニーズに対応する生涯学習拠点の管理運営を行います。
------------------	--------------------------------

3 伝統文化・文化財の保存

江田島市外の人々の関与も考慮しつつ、伝統文化や文化財の保存などに関わる団体を活性化します。

市民の文化財についての興味や関心を高めるとともに、文化財の保存・管理を適切に行い、地域の宝である文化財を次世代に継承していきます。

【主な取組】

●伝統文化・芸能の保存・継承	江田島市文化協会・江田島伝統芸能保存会の活動を支援します。
●古文書研修等と連携した文化財の保存・管理の推進・継承	古文書解読研修会の開催などにより、市民の文化財に対する関心を高め、保護・保存の意識啓発を行います。
●歴史・郷土施設の活性化	ものづくり教室・企画展などの充実や所蔵資料の整理等を行い、活性化を図ります。

スポーツの振興

＜施策の目標（目指す姿）＞

誰もが、興味や体力等に応じて、スポーツ・レクリエーションに親しんでいます

1 スポーツ・レクリエーションの普及・振興

地域で行う運動会をはじめ、各種スポーツ大会において、スポーツ推進委員や運動普及推進員などと連携し、体力づくりや健康づくりの普及・推進を図ります。

統合型地域スポーツクラブについては、市民ニーズに対応した運営を行うために、事務局体制の強化や指導者のスキルアップ、運営プログラムの充実等を図っていくとともに、市体育協会、スポーツ少年団など地域団体と連携し充実に努めます。

【主な取組】

●地域スポーツの振興	気軽にスポーツを楽しめるよう、スポーツに関する意識啓発や、取り組むきっかけづくり、目的に応じたスポーツの普及推進を図ります。
●ジュニアスポーツの振興	市スポーツ少年団を支援し、ジュニアスポーツの振興に努めます。
●競技スポーツの振興	市体育協会を支援し、競技スポーツの振興に努めます。
●マラソン大会などのスポーツイベントの開催	日本陸上競技連盟公認種目に位置づけた大会を開催し、競技力の向上に寄与するとともに、併せて特産品まつりを開催し、都市住民との交流を通じた地域の活性化を図ります。

2 社会体育施設の整備

スポーツ活動の場となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、スポーツ・レクリエーション施設などの再編・整備について検討します。

【主な取組】

●スポーツ施設の効率的な管理運営	スポーツ施設や備品の計画的な改修・修繕を進め、利用促進を図ります。
------------------	-----------------------------------

平成 28 年度江田島市教育委員会 経営計画

I ミッション

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒の生きる力を育むことを目指し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II ビジョン

【児童生徒像】

- 生きる力である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」がバランスよく育成され、その水準が向上している。

【学校像】

- 組織的な学校体制のもとで、質の高い教師が育成されるとともに、学校・家庭・地域の連携を推進し、信頼される学校づくりを目指している。

【市民像】

- 文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

【教育委員会像】

- 報告・連絡・相談による組織的な対応ができる。
- クイックレスポンス（すばやい対応）ができる。

III 現状分析

【学校教育】

- 教職員の懲戒処分については、平成 27 年度は発生していない。（平成 26 年度も発生していない。）
- 広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率において、平成 27 年度は、中学校国語（▲ 1.4 ポイント）、中学校理科（▲ 1.5 ポイント）、中学校英語（▲ 1.8 ポイント）で県平均を下回った。（平成 26 年度は、中学校理科（▲ 0.3 ポイント）、中学校英語（▲ 0.7 ポイント）で県平均を下回った。）
- 生徒指導上の諸問題において、平成 27 年度は、暴力行為の 1,000 人あたりの発生件数が中学校で 15.4 件（平成 26 年度 県 12.0 件、本市 23.9 件）である。小学校は発生していない。（平成 26 年度 県 3.6 件、本市 0.0 件）
- 意識調査（市調査平成 28 年 2 月実施）「自分にはよいところがあります」において、肯定的回答は、小学校第 5 学年で 79.8%、中学校第 2 学年で 77.1%である。（平成 27 年度「基礎・基本」定着状況調査の県平均は小 5 78.9%、中 2 70.6%）
- 体力・運動能力調査において、平成 27 年度は、全国平均以上の種目数の割合は 75.7%である。（平成 26 年度は、67.3%）

【生涯学習】

- 公民館講座の若年層（50 歳未満）利用者数割合については、平成 27 年度は 44.0%にとどまり、目標の 48.0%を達成できなかった。（平成 26 年度 43.7%）
- 市美術展の平成 27 年度の来場者数は 945 人である。（平成 26 年度 759 人）
- 学びの館及び大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の平成 27 年度の来場者については、学びの館 8,486 人（平成 26 年度 6,874 人）、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）692 人（平成 26 年度 625 人）である。
- 図書館の年間貸出冊数は、平成 27 年度 110,572 冊である。（平成 26 年度 105,629 冊）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての主催研修において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。
	児童生徒の学力の向上を図る。	基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの变革」推進協議会を設置し、取組を進める。 ○ 「学力向上チェックリスト」のすべての項目において、その質が向上するように、具体的に指導助言する。 ○ ICT活用事業、外国語指導事業を実施する。また、各事業に市町の挑戦加配を配置する。 ○ 学力向上及びICT活用に関する先進校を視察する。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	暴力行為の発生件数を減少させる。 ----- 自己効力感を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月を「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 生徒指導自主研究グループで積極的生徒指導について研究し、その成果を普及する。 ○ 全校で児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトランプ講演会を実施する。 ○ ふるさと実感事業を実施する。
	児童生徒の体力の向上を図る。	体力・運動能力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立広島大学地域戦略協働プロジェクトにおける体力・運動能力調査の分析等をもとに、学校訪問等で具体的な指導を行う。 ○ 小学校において1校1競技、中学校において部活動の活性化を図る。 ○ 江田島市体力向上推進協議会に対して、指導助言を行うなど体力向上の取組を支援する。
生涯学習	公民館講座等の充実を図る。	公民館講座の若年層の利用者数割合の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての講座のアンケートを実施する。 ○ 各館の連携強化による情報共有を図り、若年層ニーズにあった講座を充実させる。 ○ 公民館まつりにおいて講座等のPRを行う。 ○ 市PTA連合会に講座を周知し、参加を呼びかける。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。
	市美術展の充実を図る。	市美術展の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化協会作品発表会と共同で開催する。 ○ 関係者へ積極的に出品を依頼する。 ○ コンサートや特別企画を実施する。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。
	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものづくり教室の充実を図る。（学びの館） ○ 文化財講座などを開催する。（歴史資料館） ○ 展示企画を充実させる。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館1室合同の「スタンプラリー」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成し、市内各所に配布する。 ○ ミニ図書館の開催場所を検証し、変更する。 ○ 行事案内を市内小中学校に周知する。 ○ 子ども読書活動推進計画の具体的な取組を実施する。 ○ 読書預金通帳を配布する。

自己評価表

江田島市教育委員会

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標	実績値		目標値	評価 (自己評価の結果)	改善策
					平成27年度	平成28年度			
学校教育課	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての主催研修において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 	懲戒処分件数	0件	0件	0件		
	児童生徒の学力の向上を図る。	基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの変革」推進協議会を設置し、取組を進める。 ○ 「学力向上チェックリスト」のすべての項目において、その質が向上するように、具体的に指導助言する。 ○ ICT活用事業、外国語指導事業を実施する。また、各事業に市町の挑戦加配を配置する。 ○ 学力向上及びICT活用に関する先進校を視察する。 	広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率	小5 国(+2.1) 算(+1.6) 理(+0.9) 中2 国(▲1.4) 数(+0.5) 理(▲1.5) 英(▲1.8)	全ての教科で県平均を5ポイント以上上回る。			
	児童生徒の豊かな心を育成する。	暴力行為の発生件数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月を「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 生徒指導自主研究グループで積極的な生徒指導について研究し、その成果を普及する。 ○ 全校で児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトランプ講演会を実施する。 ○ ふるさと実感事業を実施する。 	暴力行為の1000人あたりの発生件数(中学校)	15.4件	11.5件	11.5件		
生涯学習課	児童生徒の体力の向上を図る。	体力・運動能力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立広島大学地域戦略協働プロジェクトにおける体力・運動能力調査の分析等をもとに、学校訪問等で具体的な指導を行う。 ○ 小学校において1校1競技、中学校において部活動の活性化を図る。 ○ 江田島市体力向上推進協議会に対して、指導助言を行うなど体力向上の取組を支援する。 	体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合	75.7%	77.0%	77.0%		
	公民館講座等の充実を図る。	公民館講座の若年層(50歳未満)利用者数割合の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての講座のアンケートを実施する。 ○ 各館の連携強化による情報共有を図り、若年層ニーズにあった講座を充実させる。 ○ 公民館まつりにおいて講座等のPRを行う。 ○ 市PTA連合会に講座を周知し、参加を呼びかける。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	若年層(50歳未満)利用者数割合	44.0%	50.0%	50.0%		
	市美術展の充実を図る。	市美術展の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化協会作品発表会と共同で開催する。 ○ 関係者へ積極的に出品を依頼する。 ○ エンサワードや特別企画を実施する。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	来場者数	945人	950人	950人		
生涯学習課	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館(瀬尾記念文庫)の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものづくり教室の充実を図る。(学びの館) ○ 文化財講座などを開催する。(歴史資料館) ○ 展示企画を充実させる。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	来場者数(学びの館)(大柿地区歴史資料館(瀬尾記念文庫))	8,486人 692人	8,500人 700人	8,500人 700人		
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館1室合同の「スタンプラリー」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成し、市内各所に配布する。 ○ ミニ図書館の開催場所を検証し、変更する。 ○ 行事案内を市内小中学校に周知する。 ○ 子ども読書活動推進計画の具体的取組を実施する。 ○ 読書頒金通帳を配布する。 	年間貸出冊数	110,572冊	113,000冊	113,000冊		

6 主要教育行政施策の概要

第2次江田島市総合計画（H27～H36）

人が育ち、輝くまち

学校教育の充実

1 学校教育の内容

- ・ふるさと実感事業（継続）地域の教育資源の活用や地域貢献等の体験活動の充実
- ・キャリア教育推進事業（継続）夢や希望、勤労観・職業観を育む教育の実施
- ・特別支援教育推進事業（継続）一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を支援
- ・国際教育事業（継続）小中学校の英語（外国語）教育の充実
- ・外国語指導事業（新規）実用英語技能検定の検定料の助成
- ・ICT活用事業（拡充）ICT機器（タブレット端末）を用いた授業実践の研究
- ・里海学習推進事業（継続）海辺の生き物を観察する体験活動を通じて豊かな心の醸成
- ・自然体験教室開催事業（継続）「ふるさと江田島」の自然観察、科学体験活動の充実

2 学校と地域・家庭との信頼関係

- ・学校経営支援事業（継続）地域や学校の特色を生かした個性的な教育活動の支援
- ・研究指定校事業（一部新規）県の研究指定校事業の実施
- ・教育研究グループ支援事業（継続）教育課題の実践的研究、教員リーダーの育成
- ・大柿高校活性化事業（一部新規）大柿高校の地域に根ざした教育活動及び中高連携の充実
- ・大柿高校魅力化事業（新規）大柿高校「公営塾」の運営等の支援

3 学校施設の整備

- ・学校メール配信サービス運用事業（継続）緊急情報等のメール配信サービスの運用
- ・通学支援事業（継続）統合や自転車通学解消のための遠距離通学支援
- ・学校教育施設整備事業（一部新規）学校施設の計画的な整備

生涯学習の充実

1 生涯学習活動の支援

- ・生涯学習推進事業（継続）市民が生き生きと前向きな生活が送られるよう、講演会などを開催
- ・家庭教育推進事業（継続）家庭教育に係る学習機会の提供支援
- ・人権学習講演会開催事業（継続）市民一人一人が学び考える機会とし、人権感覚の高揚を図る
- ・人権に関する作品募集事業（継続）小中学生から人権をテーマとした絵画・作文を募集し、人権感覚を涵養
- ・文化・芸術鑑賞事業（継続）優秀な美術・演劇・音楽に接し、完成や教養を深める
- ・美術展開催事業（継続）市民の芸術・文化活動の活性化促進
- ・放課後児童健全育成事業（継続）放課後等に安全・安心な子どもの活動拠点を設け、児童の健全育成を図る

2 社会教育施設の整備

- ・公民館管理運営事業（継続）市民の自主学習活動を支援し、地域交流の拠点とする
- ・図書館管理運営事業（継続）市民の読書活動・コミュニティの場、情報発信の拠点

3 伝統文化・文化財の保存

- ・伝統文化継承事業（継続）郷土の伝統芸能や文化財の継承・市民へ文化意識の涵養

スポーツの振興

1 スポーツ・レクリエーションの普及・振興

- ・市民スポーツ振興事業（継続）市民の健康づくり・体力づくりの推進と市民交流の促進
- ・マラソン大会開催事業（継続）都市との交流や健康づくりを図るファミリーマラソン大会の実施

2 社会体育施設の整備

- ・市民プール開放事業（継続）市民の健康・体力づくり及び生涯スポーツの振興を図る

ふるさと実感事業

予算額 110万円
継続事業

事業の目的

ふるさとを愛する豊かな心を養うとともに、将来、地域の発展に貢献できる児童生徒を育成するための各学校における取組に対して補助金を交付し、児童生徒がふるさとを実感する教育活動の展開を支援する。

事業の内容

(1) 学校が行う地域貢献の支援「ぼくもわたしも江田島市民！」

- ・中学校区で小中学生がボランティア清掃を行う。
- ・地域の行事に積極的に参加する。

(2) 学校が行う地域学習の支援「江田島っていいな！」

- ・地域のことを学ぶため、学校から出て、地域で学ぶ。
- ・地域人材をゲストティーチャーとして招聘する。

(3) 講演会の開催「ようこそ先輩！」

- ・地元出身で活躍している先輩を招聘し、講演を聞く。
- ・地元出身で活躍している先輩による授業を行う。

キャリア教育推進事業

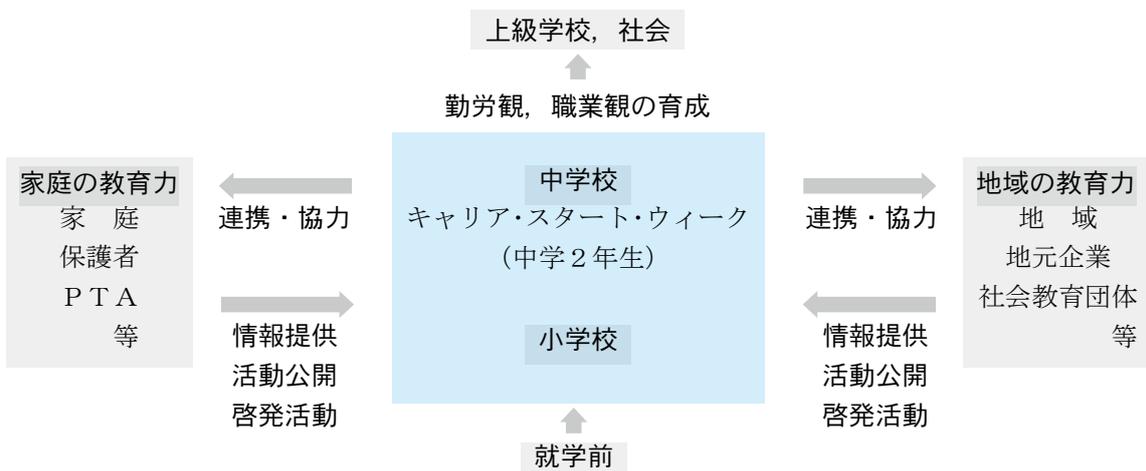
予算額 30万円
継続事業

事業の目的

児童生徒が社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を育成するため、5日間の職場体験学習（キャリア・スタート・ウィーク）などの取り組み等を通して発達段階に応じたキャリア教育の推進を図る。

事業の内容

社会人・職業人として必要な資質・能力の育成



特別支援教育推進事業

予算額 185万円
継続事業

事業の目的

LD（学習障害），ADHD（注意欠陥・多動性障害），高機能自閉症等（以下「LD等」）を含む障害のある幼児・児童・生徒に適切な指導や必要な支援を行うとともに，一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を実施する。

事業の内容

一貫した支援体制の整備

- 関係機関，専門家等と連携した就学前の教育相談の充実
- 就学時検診の実施
- 教育支援委員会の開催
- 専門家による教育巡回相談の実施
- 呉特別支援学校江能分級での教育相談の実施

校内支援体制の充実

- 市費講師，学生支援員の配置による支援体制の整備
- 校内委員会の設置・充実
- 教材，備品の充実
- 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成
- 特別支援学校との連携の充実

教員の専門性の向上

特別支援教育の推進

～一人ひとりのニーズに応じた教育的支援～

特別支援教育に関する普及啓発

- 特別支援教育コーディネーター研修会などの実施
- 指導主事の派遣

- 専門家による講演会の実施
- 特別支援教育の理解における保護者との連携
- 特別支援教育に関する情報提供の充実

国際教育事業

予算額 999万円
継続事業

事業の目的

外国語指導助手（ALT）2名により，小学校における外国語活動及び中学校における英語教育の充実を図るとともに，ネイティブな発音にふれ，外国の文化や習慣と慣れ親しむことを目的に実施する。

事業の内容

英語教育の充実により子どもの国際感覚を養う

- 言語や文化に対する理解の深化
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- コミュニケーション能力（聞くこと・話すこと・読むことなど）の基礎の育成
- 国際感覚を養う
- 授業内容の充実

中学校における英語教育

小学校から中学校への円滑なバトンタッチ

スタートカリキュラム

小学校における外国語活動

- 発達段階に応じた授業
- 言語や文化に対する体験的な理解
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- 外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ

コミュニケーション能力の素地を養う

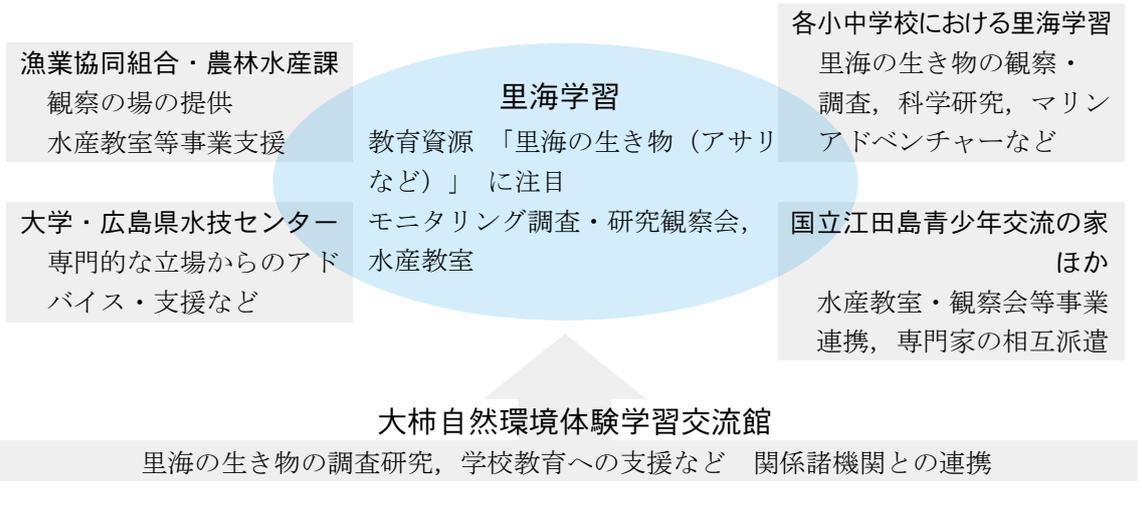
里海学習推進事業

予算額 91万円
継続事業

事業の目的

身近なふるさとの自然である「里海」を教育資源とした観察・調査・研究を中心に、小・中学校、大学・広島県水技センターなどの専門機関、漁業協同組合・農林水産課、地域社会と連携し、江田島市ならではの特色ある環境教育を推進する。

事業の内容



学校経営支援事業

予算額 220万円
継続事業

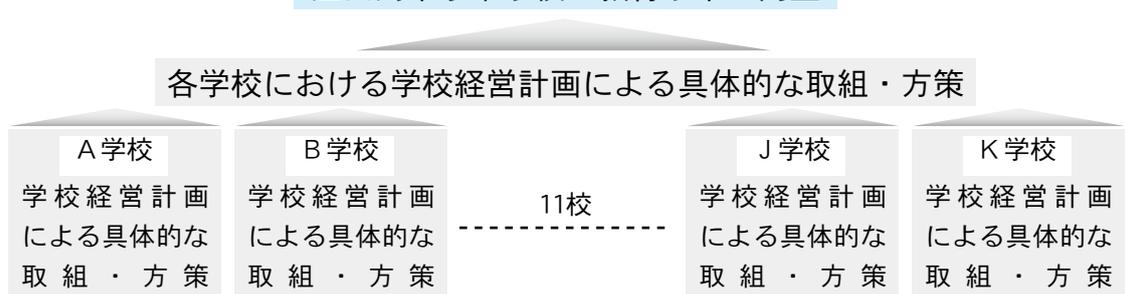
事業の目的

各学校の平成28年度学校経営計画における具体的な取組・方策に対する支援を行うために補助金を交付する。

事業の内容

学校評価の結果に応じて、学校を支援することにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。配分する額は申請内容に応じて決定する。
(対象校 11校)

江田島市小中学校の教育水準の向上



研究指定校事業

予算額 257万円
一部新規事業

事業の目的 国や県の研究指定を受け、教育研究の充実と教員の資質向上を図る。

事業の内容

○「山・海・島」体験活動事業

日常とは異なる環境の中で、地域住民と交流し、自然を活用した学習を行うなど、他校のモデルとなる集団宿泊活動等を実施。

- ・実施校：切串小学校、江田島小学校、中町小学校、三高小学校、大古小学校
- ・対象：小学校第5学年
- ・活動：3泊4日の集団宿泊活動

○人権教育総合推進地域事業

学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を推進。

- ・実施校：三高中学校、三高小学校

小・中学校課題発見・解決学習推進プロジェクト

I 「学びの変革」パイロット校事業

教科、総合的な学習の時間における「課題発見・解決学習」に係る単元開発及び評価の研究等を実施。

- ・パイロット校：能美中学校
- ・実践指定校：鹿川小学校、大古小学校

II 学力向上チャレンジ校事業

「習得」の学習活動の研究、個に応じた指導内容・方法、教材開発などを実施。

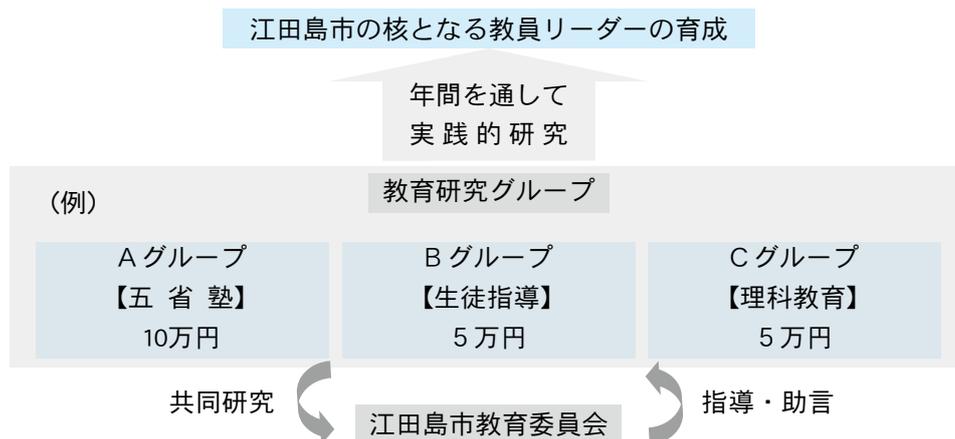
- ・実施校：江田島中学校、切串小学校、江田島小学校

教育研究グループ支援事業

予算額 20万円
継続事業

事業の目的 教職員として求められる専門的な研究推進に向け、教職員が自主的に構成する研究グループの活動を奨励・支援することにより、さらなる指導力の向上や教職員としての資質・能力のさらなる向上に資する。

事業の内容 複数校の教員で構成し、江田島市教育委員会の指導主事等の指導のもとに研究を進める。



外国語指導事業

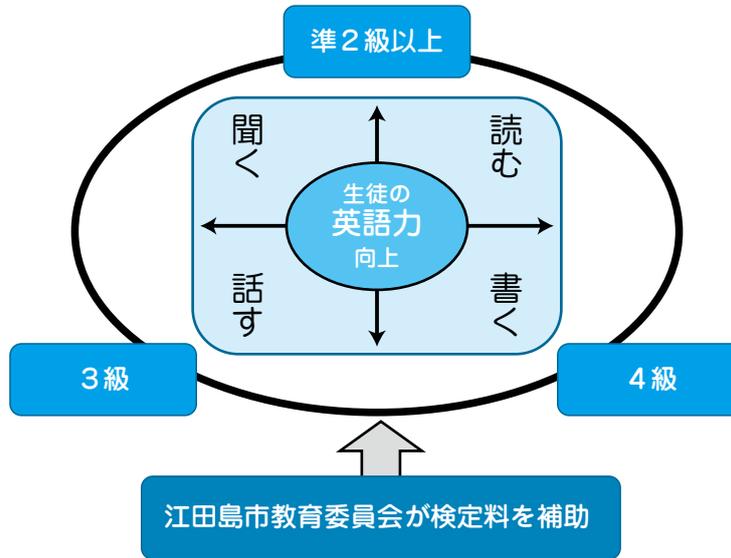
予算額 74万円
新規事業

事業の目的

江田島市立中学校在籍生徒に実用英語技能検定を積極的に受検させ、その検定料を補助することを通して、生徒の英語能力の向上を図る。

事業の内容

中学生の実用英語技能検定4級以上の受検にかかる検定料を助成する。



大柿高校活性化事業

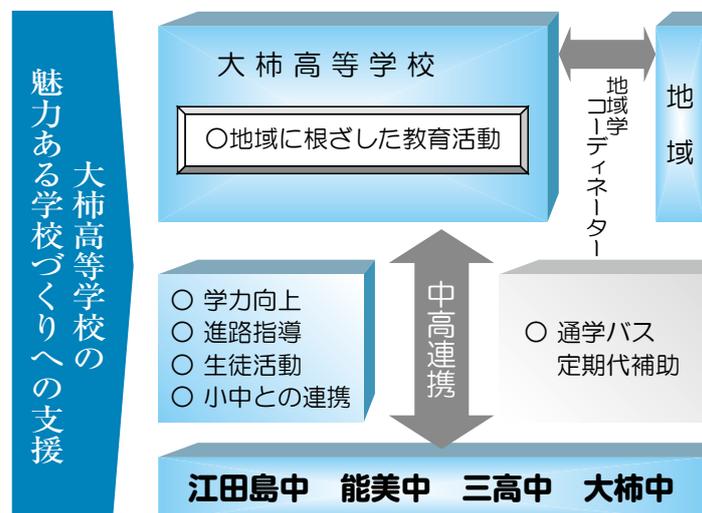
予算額 240万円
一部新規事業

事業の目的

広島県立大柿高等学校（以下「大柿高校」）の魅力ある学校づくり及び中高連携のために補助金を交付し、地域に根ざした教育活動の展開を支援し、大柿高校の活性化を図る。

事業の内容

大柿高校の地域に根ざした教育活動及び中高連携の取組への支援を行う。また、大柿高校生徒の通学バス定期代（1/2）の補助を行う。



大柿高校魅力化事業

予算額 456万円
新規事業

事業の目的

広島県立大柿高等学校（以下「大柿高校」）の魅力を高めるために補助金を交付し、活性化に向けた取組を支援し、大柿高校の魅力化を図る。

事業の内容

- 公営塾の運営に関すること（3,121,000円以内）
- 県内外下宿生徒の下宿代の補助に関すること（1,440,000円以内）



灘尾基金国際交流支援事業

予算額 40万円
新規事業

事業の目的

広島県立大柿高等学校（以下「大柿高校」）が行う、台湾姉妹校生徒との交流活動のために補助金を交付し、大柿高校の教育活動を支援し、グローバル人材の育成を図る。

事業要件及び対象

- 大柿高校生徒の台湾渡航に係る費用
- 大柿高校生徒の宿泊に要する費用
- 台湾姉妹校生徒に係る経費（渡航及び宿泊の費用を除く。）
- 交流活動に係る経費



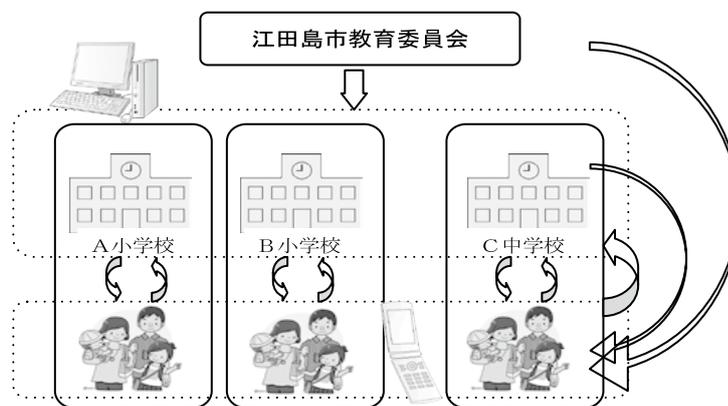
学校メール配信サービス運用事業

予算額 83万円
継続事業

事業の目的

小中学校からのお知らせや緊急・不審者情報等のメール配信を保護者等に
一斉に送信し、子どもたちの安全を守るとともに、学校の教育活動を積極的
に発信できる情報ツールとして活用し、開かれた学校づくりの充実を図る。

事業の内容



配信される内容例

- ・不審者情報 ・学校行事などの案内 ・臨時休校のお知らせ
- ・インフルエンザ情報 ・PTAからのお知らせ ・学校からの連絡

ICT活用事業

予算額 57万円
拡充事業

事業の目的

情報活用能力など社会の変化に対応するための子どもの力を育むため、情
報教育機器の整備、拡充を図り、教師のICT指導力の向上を図る。

事業の内容

指導者・学習者の両面から活用が可能な情報端末（デジタルペン等）を用
いた授業実践の研究を積極的に推進する。

- ・導入内容 平成26年度 タブレット端末45台
平成28年度 デジタルペン（80本）

○モデル校事業

ICT機器を活用した授業実践、活用の研究及
び活用事例集を作成。

モデル校：中町小学校，大柿中学校

小中学校の教育研究会視聴覚部会において、
ICT機器の活用の研究を実施。



通学支援事業

予算額 4,580万円
継続事業

事業の目的

統合後の通学支援：統合等により遠距離通学となった児童・生徒への通学支援をする。

中学校生徒遠距離通学支援：遠距離自転車通学中学校生徒に対し通学時の安全対策のため、路線バス定期の補助を行う。

事業の内容

統合後の通学支援

切串小学校（1区間）

差須浜・大須・幸ノ浦・エセギ・タカノス
（スクールバス）

江田島小学校（6区間）

飛渡瀬・江南（路線バス）、秋月（路線バス）、
小用（路線バス）

津久茂（スクールバス）、大原官舎（スクール
バス）、石風呂・旧宮ノ原小（スクールバス）

中町小学校（1区間）

高田（スクールバス）

鹿川小学校（1区間）

是長・沖（路線バス・スクールバス）

三高小学校（1区間）

美能（路線バス）

大古小学校（2区間）

深江（路線バス）、大君（路線バス）

中学校生徒遠距離通学支援

江田島中学校（4区間）

差須浜・大須・幸ノ浦・エセギ・タカノス
・切串（スクールバス）

飛渡瀬・江南・鷺部・中央（路線バス）、
津久茂・宮ノ原（路線バス）、秋月（路線バス）

※自転車通学なし

能美中学校（3区間）

是長・沖の一部（路線バス・スクールバス）

鹿川の一部（路線バス）、高田の一部（路線
バス）

三高中学校（1区間）

美能（路線バス）

大柿中学校（3区間）

小古江の一部（路線バス）、深江の一部（路線
バス）、柿浦・大君の一部（路線バス）

学校教育施設整備事業

予算額 28年度 5,788万円・27年度繰越分 2億11万円
一部新規事業

事業の目的

児童・生徒の安全の確保といきいき学び、活動できる学校づくりを進めていくため、学校施設の耐震化及び大規模改修を計画的に進める。

また、教育環境充実のため、普通教室及び特別支援教室に順次空調設備を設置する。

事業の内容

- ・三高小学校屋内運動場耐震補強及び大規模改修工事（平成27年度繰越事業）
- ・江田島中学校空調設備設置工事
- ・能美中学校空調設備設置工事

耐震診断結果に基づく
耐震補強設計及び
大規模改修工事設計



耐震補強及び
大規模改修工事

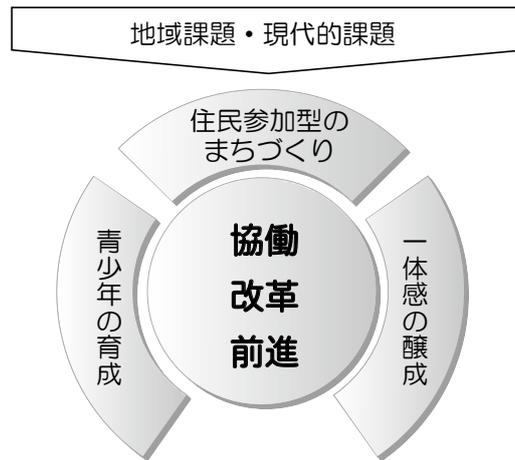
生涯学習推進事業

予算額 114万円
継続事業

事業の目的

これからの生涯学習の推進と市民一人ひとりが生き生きと前向きな生活が送られるよう、講演会などを開催する。

事業の内容



家庭教育推進事業

予算額 73万円
継続事業

事業の目的

家族が温かく支え合う愛情豊かな家庭が築けるよう関係機関と連携し、学習機会を提供する。

事業の内容

きめ細やかな家庭教育支援

家庭の教育力向上

- ◎基本的な生活習慣や生命を尊重する心を育成する機会の提供
- ◎生活や人間形成の基盤となる読書力の向上支援
- ◎親が参加する機会を活用した学習機会の提供
- ◎父親の家庭教育参加を考える機会の提供
- ◎インターネットトラブル対策を考える機会の提供

『親の力』を学びあう学習プログラム
家庭教育支援講演会・家庭教育事業助成

人権学習講演会開催事業

予算額 102万円
継続事業

事業の目的

一人ひとりが、互いに認め合い尊重できる「人権感覚豊かな」人間性を育むことにより、誰もが住んでよかったと思うまちづくりを目指す。

事業の内容

多様な人権課題

女性 子ども 高齢者 障害者 同和問題
アイヌの人々 外国人
HIV感染者・ハンセン病患者、元患者
刑を終えて出所した人 その他

人権学習講演会

人権感覚に溢れた社会実現

「学び」・「考え」一人ひとりが自らの
生き方を見つめ直し、人権意識の
醸成を図る

人権に関する作品募集事業

予算額 50万円
継続事業

事業の目的

市内の小・中学生から、人権をテーマとした作品を募集し、児童・生徒の人権感覚を育むとともに、応募作品を基に人権啓発冊子を作成し、人権教育及び啓発資料として広く活用する。

事業の内容

応募資格 一江田島市内の小・中学生

作文の部

- 日常生活での人権問題に視点をあてた作品
- 400字詰め原稿用紙5枚以内

選考・表彰

人権擁護委員等からなる選考委員会組織による選考と表彰

ポスターの部

- 日常生活での人権問題に視点をあてた作品
- 四つ切か八つ切画用紙
- 作品中に標語挿入

人権啓発冊子の作成

作品・ポスター各部の優秀・入選作品

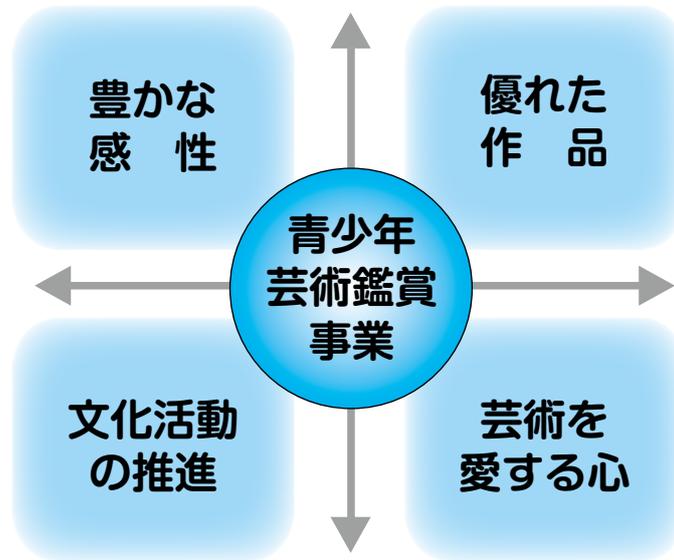
児童・生徒に対して、身近な人権課題の再認識を促す。
児童・生徒の人権感覚・視点を基とした啓発資料の活用は、大人たちへの強いメッセージと成り得る。

文化・芸術鑑賞事業

予算額 72万円
継続事業

事業の目的 子どもたちが本物の舞台芸術や伝統文化に触れる機会を設け、豊かな感性や想像力などを養う。

事業の内容

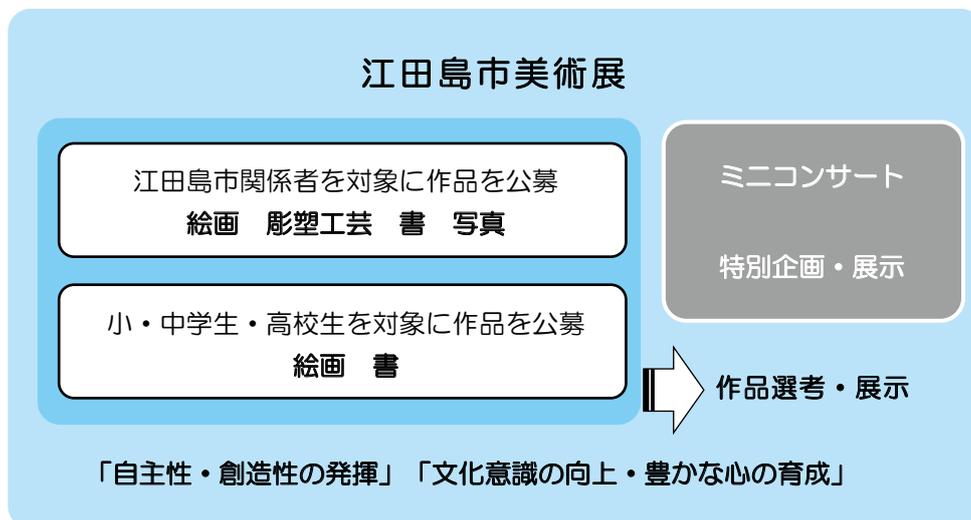


美術展開催事業

予算額 152万円
継続事業

事業の目的 市民の文化芸術に関する意欲的な創作発表を奨励し、自主性と創造性を発揮する場を提供する。
また、文化芸術活動・文化財等を鑑賞し親しむ機会を積極的に提供することで、市民の文化芸術意識の高揚を図る。

事業の内容



放課後児童健全育成事業

予算額 5,518万円
継続事業

事業の目的

保護者が就労などにより、昼間家庭にいない児童に対して、放課後や夏休みなどの長期休業中に、適切な遊びや生活指導を行い健全な育成を図る。

事業の内容

放 課 後 児 童 ク ラ ブ

◆対象児童

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生

◆実施場所

江田島第1児童クラブ	江田島小学校内
江田島第2児童クラブ	江田島小学校内
切串児童クラブ	切串小学校内
中町児童クラブ	中町児童館内
高田児童クラブ	高田児童館内
鹿川児童クラブ	鹿川小学校内
三高児童クラブ	三高小学校内
大古児童クラブ	大古小学校内
柿浦児童クラブ	柿浦児童館内

開所日・時間

- 年間250日程度
- 保護者ニーズに応えるため
毎月1回程度土曜日に開所
(授業日) 放課後～午後6時
(休業日) 午前8時～午後6時

保護者負担金

月額 3,000円 (8月は5,000円)

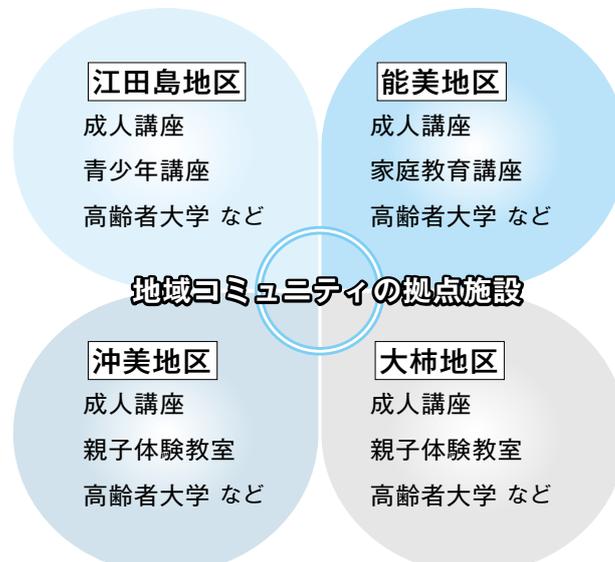
公民館管理運営事業

予算額 1億1,151万円
継続事業

事業の目的

住民に身近な生涯学習施設として、住民のニーズを的確に把握し、地域の課題解決に向けた取り組みを行うとともに、地域文化の継承や更なる発展を目的に文化・芸能活動を行う団体を支援する。また、各公民館で高齢者大学を開設し、生涯を通して元気で豊かな生活が送れるよう学習の支援や交流の場を提供する。

事業の内容



図書館管理運営事業

予算額 2,999万円

継続事業

事業の目的

利用者が安心して施設・設備を利用するための維持保全を行うとともに、地域における読書活動の中核的役割を担い、かつ定期的に住民が集える地域コミュニティの場としての役割を果たすための様々な方策を実施する。

事業の内容

地域コミュニティ

読書活動の推進

資料の充実

- 様々なニーズへの対応
- 児童図書 of 充実
- 郷土資料の収集
- 視聴覚資料の充実

企画・サービスの充実

- 青少年層の利用促進（スタンプラリー・子ども司書養成等）
- 定期的に住民が集う場（ふれあい広場・図書館フェスタ等）
- 強調月間等を通じた啓発
- 児童文学雑誌『小鳥』発行
- 関係サークルの育成
- 広域利用サービス（広島広域都市圏）

システムの充実

- 図書館管理システムの利用による窓口業務の効率化
- 広島県立図書館との連携

資料の充実

- 施設の維持保全と安全確保
- 郷土資料室の有効活用

伝統文化継承事業

予算額 80万円

継続事業

事業の目的

伝統芸能や文化財など郷土の貴重な財産を保存し、次の世代へ継承する責務を果たすとともに、これらを広く市民へ紹介していくことで、郷土の歴史や伝統文化への関心と理解を深めていく。

事業の内容

伝統芸能の保存・継承

伝統芸能保存会への助成

文化財の保存

古民具の整理・保存

郷土で古くから使われてきた民具等を整理補修

伝統芸能の重要性と技術

次世代への継承

「文化財産への関心」と「豊かな人間性」

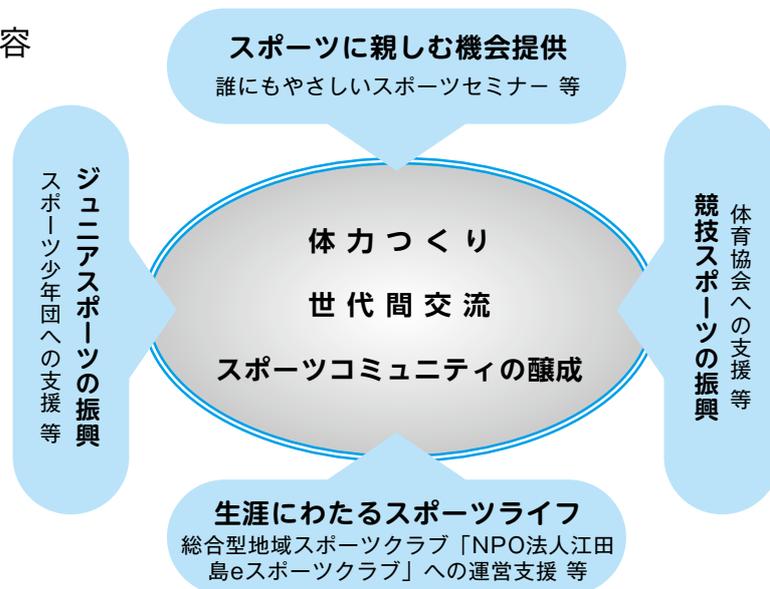
市民スポーツ振興事業

予算額 875万円
継続事業

事業の目的

市民のスポーツ活動を支援し、誰もが気軽にスポーツを楽しむ場を提供することにより、体力・健康づくりはもちろんのこと、世代間の交流促進や青少年健全育成、社会基盤としてのスポーツコミュニティの醸成を図る。

事業の内容



マラソン大会開催事業

予算額 260万円
継続事業

事業の目的

「潮風とともに走るマラソン」をテーマに、子どもから高齢者を対象に開催する。参加者に走る楽しさを感じてもらい、健康づくりへのきっかけを提供するとともに、一方で日本陸連公認のハーフマラソン種目を設けるなど競技力の向上にも資する。また、地元ボランティアによる協力と、市外に対して特産品のPRを行うことで、地元住民と都市との交流したまちおこしイベントとして、江田島市の魅力を発信する機会とする。

事業の内容



市民プール開放事業

予算額 1,886万円
継続事業

事業の目的 市内にある8プール（学校プールを含む）を夏休み期間中に開放し、市民の健康づくり、体力づくり、生涯スポーツの振興を図る。

事業の内容

教育委員会生涯学習課

委託業者

現場管理責任者（1名）

江田島地区

大原プール
切串小プール
江田島小プール

能美地区

高田プール
鹿川小プール
能美中プール

沖美地区

三高小プール

大柿地区

大古小プール

すべての施設に、現場責任者1人、
管理人2人配置（大原、江小は3人）

